第 262 回 役員会 議事要旨

- I 日 時 令和 7 年 6 月 24 日 (水) 10 : 12 ~ 11 : 30
II 場 所 文京キャンパス 本部棟 2 階 第 1 ・ 第 2 会議室
III 出席者 内木学長、澁谷理事、岡沢理事、米沢理事、小野寺理事、坪田理事及び堀理事
陪席者 峠岡監事、佐野監事、藤枝副学長、永井副学長及び事務局関係部課長

IV 議 事

1. 会議の成立等について

議事に先立ち、構成員 7 名全員の出席により、定足数を満たしていることを確認した。

2. 第 261 回役員会の議事要旨の確認について

学長から、意見等の有無の確認を行い、原案どおり了承された。

3. 審議事項

(1) 令和 6 事業年度決算 (案) について

理事 (総務、財務・施設担当) から、資料 1 に基づき、令和 6 事業年度決算 (案) について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

—主な意見—

- 民間企業では、経営効率を測る指標として株価に対する PBR (株価純資産倍率) や ROI (投資利益率) などがあるが、大学の場合は絶対値の金額で評価し、経営状況の分析はわかりにくい。指標を用いて、一目で経営状態がわかるような仕組みを構築してはどうか。例えば、収支を単月だけではなく中期計画 4 年間の累計で可視化するなど、時間軸で捉える仕組みができると非常に良いと考える。また、資料は重要な数字と経営指標のみで簡潔にまとめることで、経営状態が一目で分かり、効率が向上し、事務負担軽減にも繋がるのではないか。

(2) 令和 8 年度概算要求事項 (案) について

理事 (総務、財務・施設担当) 及び学長から、資料 2 に基づき、令和 8 年度概算要求事項 (案) について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。なお、教育研究組織改革分の新規要求については、文科省と折衝中のため、別途書面審議を依頼する旨、学長から案内があった。

(3) 附属病院外来玄関前立体駐車場整備計画について

理事 (総務、財務・施設担当) から、資料 3 に基づき、附属病院外来玄関前立体駐車場整備計画について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4) 令和 7 年度内部統制システムの整備及び運用に係る推進方針 (案) について

理事 (総務、財務・施設担当) から、資料 4 に基づき、令和 7 年度内部統制システムの整備及び運用に係る推進方針 (案) について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(5) 称号贈呈について

学長から、資料5に基づき、称号贈呈について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

4. 討議事項

(1) 医学部附属病院の経営状況について

副学長（医療担当）から、資料6に基づき、医学部附属病院の経営状況について説明後、意見交換を行った。

5. 報告・連絡事項

(1) 令和6年度外部資金の受入状況について

理事（研究、評価・IR担当）及び理事（社会共創、企画戦略、広報担当）から、資料7に基づき、令和6年度外部資金の受入状況について報告があった。

(2) 令和6年度福井大学卒業生・修了生の進路状況について

理事（教育、ダイバーシティ担当）から、資料8に基づき、令和6年度福井大学卒業生・修了生の進路状況について報告があった。

(3) 令和6年度資金運用に係る報告について

学長から、資料のみの報告として良いかの確認の後、資料9について、案内があった。

—主な意見—

- 現在、大学は約60億円のキャッシュのうち34億円を現預金（一年定期）として保有しているが、その定期預金による収益は約1,400万円ほどである。民間企業では、運転資金以外の不要なキャッシュは、社債を買うなど投資で運用する等、緊急の場合は必要な時に借入で対応している。これだけ多額のキャッシュを1年定期預金の低利率で運用することは効率が悪いと思う。例えば東京大学ではファンドを組んで収益を上げたりしている。国の規制により、大学の資金運用範囲は限定されているが、社債等の担保のあるものや格付けの良いものであれば認められるのではないか。国の指針の内でもう少し柔軟に運用すると、資金運用の幅が広がり、現状よりも何千万円もの収益増加が見込めるのではないか。

△ 運営交付金の交付が遅延した場合や何らかの事故が起こった場合に、本学が市中銀行から短期借入できる限度額が25億円と決められている。短期借入をすると必ず利息が付くため、手持ちの定期預金を崩して、不測の事態に備えるということも想定して、1年で定期預金を運用している。

- 借入枠を作ることを銀行に提案して、高金利の預金と引き換えに有利な融資条件を確保することで、緊急時に備えるという考えもあるのではないか。

△ 使い道が確定している資金でも、実際に使うのが1年先である場合は、その間で金利を生む商品に投資することも良いのではないか。ただ、4月の中旬まで予算が確定しないこともあったため、それに備えて資金を残しておく必要もあると思っているが、それでも多少の運用は考えていただきたい。

(4) 令和7年度会計監査人の選任について

学長から、資料のみの報告として良いかの確認の後、資料10について、案内があった。

6. その他

(1) 当面の行事予定について

学長から、資料11に基づき、当面の行事予定について報告があった。

7. 次回役員会予定

学長から、今回は以下の通り開催する旨、案内があった。

日 時 令和7年7月16日(水) 10:15～(予定)

場 所 福井大学 文京キャンパス 本部棟2階 第1・第2会議室